

関係団体の相互協力で、自殺予防を推進

～県と自殺予防に関する協定を締結しました～

昨年、本県での65歳以上高齢者の自殺者数は74名。前年に比べ約48%の大幅な増加となり、ここ5年間で最も多くなっています。

こうした状況から、県では自殺予防の取り組みに関して、関係団体等と連携・協力しようと、これまでも20団体と協定を締結していますが、このたび、県老人クラブ連合会や県自殺予防協会、NPO法人アプローチ会など、新たに8団体と協定を結ぶことになり、去る3月24日に徳島県庁において、その締結式が行われ、伊丹県老連会長が出席、「自殺予防の取り組みの相互協力に関する協定書」に調印しました。



協定では、日常業務・活動において、自殺予防に取り組むこととし、自殺の恐れのある人（何らかの悩みや不安がある人）に声をかけ、話を聞いて、必要に応じて専門機関へつなげること、また、老人クラブが自殺予防に関する研修を行う場合の講師の派遣、相談窓口などを掲載したチラシの配布等で相互に協力することが盛り込まれています。

